



2005/2006 ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル
東京
2005年12月16日～18日

告知

1. 概要

ISU フィギュアスケート・グランプリは6つの国際シニア招待大会とISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルで構成されている。6大会は全て国際スケート連盟による承認と援助により開催され、関係するメンバー連盟の責任において、2004年ISU組織規定と一般規定、2004年ISU特別規定シングルとペア、2004年ISU特別規定アイス・ダンス、及び関係するISUコミュニケーションに従わなければならない。ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルはISUに属し、日本スケート連盟(JPN)により組織される。

ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルは、男子、女子、ペア、ダンス・カップルで構成され、2005/2006年ISU フィギュアスケート・グランプリの通告に従い、出場資格を与えられる。2005/2006年ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの出場者は、ISUメンバー(第2章第130項)に所属しなければならず、第102項に従い適任性によって資格を与えられ、第1章～5章第109項とISUコミュニケーションの第1117号に従い、出場、市民権、居住権に対する要求を満たすものとする。

ISU規定第109項とISUコミュニケーション第1117号に従い、所属しているメンバーの国籍を持っていない、またはそのような国籍を持っていても過去に別なメンバーから出場したことがある選手は、ISU認可証明書(ISU Clearance Certificate)を作成する必要がある。

2. 競技開催地

全ての競技と練習は、60メートル×30メートルの長さのスケートリンクを所有する、国立代々木競技場で行われる。国立代々木競技場はインドアの施設で、アイスリンクは人工である。住所は以下である。

国立代々木競技場 第一体育館

〒150-0041 東京都渋谷区神南2-1-1

電話番号：+81-3-3468-1171

3. 得点システム

3.1 得点

ISU フィギュアスケート・グランプリのそれぞれの大会での順位に基づき、得点システムは以下のように設定される。

<u>男子、女子、アイス・ダンス</u>		<u>ペア</u>	
1 位	12 点	1 位	12 点
2 位	9 点	2 位	9 点
3 位	7 点	3 位	7 点
4 位	5 点	4 位	5 点
5 位	4 点	5 位	4 点
6 位	3 点	6 位	3 点
7 位	2 点		
8 位	1 点		

3.2 採点

確定、発表された 2 つの得点が、ISU フィギュアスケート・グランプリのランキング順位に入ると見なされる。得点は ISU フィギュアスケート・グランプリの順位を確定するために、最も高い得点を基準にして合計に加算される。

3.3 最終ランキング順位

得点順位は、ISU フィギュアスケート・グランプリの最終大会（2005/2006 年は「NHK 杯」）の後、直ちに公表される。ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルへの出場権を与えられるのは、

- 上位 6 位までの男子
- 上位 6 位までの女子
- 上位 6 位までのペア
- 上位 6 位までのダンス・カップル

3.4 同点

加算点によって同順位が発生する場合は、下記基準で順位を確定する。

a) 指定された 2 大会において獲得した順位を、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、

b) 指定された大会で獲得した合計得点を加算し、より高い合計得点を、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、



c) 2つの大会へ出場経験がある場合、1大会のみの出場よりも有利と見なされる。

それでも同順位の場合は、

d) 2つの指定された大会において、フリー・スケート/フリー・ダンスで獲得した合計得点を加算し、より高い合計得点を、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、

e) 2つの指定された大会のうち1大会で獲得した、フリー・スケート/フリー・ダンスのより高い合計得点を、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、

f) 2つの指定された大会において、ショート・プログラム/オリジナル・ダンスで追加された得点の高い合計得点を、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、

g) 同順位のスケーター/カップルが出場した2つの大会を終了した出場者数を、合計に追加することができる。より多い出場者数は、よりよい順位にカウントすることができる。

それでも同順位の場合は、全ての同順位選手は ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルへの出場を承認される。

4 賞金

4.1 賞金

ISU は ISU メンバーを通じて、スケーター/カップルに ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルに以下の合計賞金を用意している。

U.S. 272,000.00 ドル

入賞したスケーター/ペアへの全ての賞金は、ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル終了後、ISU メンバーより入賞したスケーターのメンバーへ直ちに銀行送金によって支払われる。源泉徴収税が発生する場合は、入賞したスケーターの居住国に適用される二重税条約に考慮し、ホスト・メンバーの法律によって控除される。ISU は如何なる税、費用、経費については責任がないものとする。

男子と女子	ペア とアイス・ダンス (1カップル毎)
1位: USD \$25,000.00	USD \$25,000.00
2位: USD \$18,000.00	USD \$18,000.00
3位: USD \$12,000.00	USD \$12,000.00
4位: USD \$ 6,000.00	USD \$ 6,000.00
5位: USD \$ 4,000.00	USD \$ 4,000.00
6位: USD \$ 3,000.00	USD \$ 3,000.00

ファイナルに出場資格のあるスケーター/ペアは、競技プログラムとは別な指定されたショー・ナンバーに参加しなければならない。怠った場合は入賞賞金から US500.00 ドルが減額されることとなる。

スケーター/ペアは如何なる式典または授賞式への参加を期待され、ISU または大会主催者に依頼された場合、記者会見または社会的イベントに参加することを望まれる。怠った場合、入賞金が減額される場合がある。入賞金を減額する決定は、後に委員会によって承認される、指定された ISU の代表者によってなされる。

4.2 出場金

出場金は入賞金を獲得しなかったスケーター/ペアへのみ支払われる。出場費用は 1 選手が US200 ドル、ペア/ダンス・ペアへは US300 ドルが支払われる。

5 技術詳細と特別規定

5.1 技術詳細

男子：ショート・プログラム 競技の規定要素は、2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア・スケート（第 2 章第 310 項）、及び各 ISU コミュニケーションに記載されているものとする。

尺：最大 2 分 50 秒、またはそれ以下

フリー・スケート 2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア/スケート（第 320 項）、及び各 ISU コミュニケーションに基づく。

尺：4 分 30 秒、+/- 10 秒

女子：ショート・プログラム 競技の規定要素は、2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア・スケート（第 2 章第 310 項）、及び各 ISU コミュニケーションに記載されているものとする。

尺：最大 2 分 50 秒、またはそれ以下

フリー・スケート 2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア/スケート（第 320 項）、及び各 ISU コミュニケーションに基づく。

尺：4 分 30 秒、+/- 10 秒

ペア：ショート・プログラム 競技の規定要素は、2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア・スケート（第 3 章第 313 項グループ C）、及び各 ISU コミュニケーションに記載されているものとする。

尺：最大 2 分 50 秒、またはそれ以下

フリー・スケート 2004 年 ISU 特別規定シングル/ペア/スケート（第 321 項）、及び各 ISU コミュニケーションに基づく。

尺：4分30秒、+/- 10秒

アイス・ダンス：オリジナル・ダンス オリジナル・ダンスのリズムは、

ラテン・コンビネーションである。

下記から2か3の異なるリズムを選択する：

グループ1：チャチャ、ルンバ、サンバ

グループ2：マンボのオンリー・ワン、メレンゲ、サルサ

グループ1または2いずれのリズムも一度繰り返すことができる。必ずしもグループ2からリズムを選ぶ必要はない。但し一つだけ選ぶとしたら、このグループから選ぶこと。

(例えば、チャチャ、ルンバ、サンバまたはチャチャ、ルンバ、マンボまたはチャチャ、ルンバ、チャチャまたは、チャチャ、ルンバまたはマンボ、ルンバまたはマンボ、ルンバ、マンボ但しチャチャではない、マンボとメレンゲ)

リズムについては「アイスダンス・ミュージックリズム・ブックレットとコンパクト・ディスク 1995」に記載されており、ISU コミュニケーション第1318号の11から12ページに記載されているサルサを除く。ダンスはボールルームまたはソーシャル・ダンス、及びスケート滑走とエッジ使用で表現されるスタイルを反映させなければならない。必要な要素は、選択したリズムと曲の特徴を反映し高めるために、注意深く選ぶ必要がある。

ボーカルが入っている曲は許可される。

尺：2分30秒（プラスまたはマイナス10秒）

ラテン・コンビネーションの場合、女性のズボン着用を許可される。

フリーダンス

尺：4分 + - 10秒 2004年 ISU 特別規定アイス・ダンス（第510項）、及び全ての適切な ISU コミュニケーションに基づく。

5.2 ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの特別規定

スケーター/ペアはファイナルへの出場資格のランク順位とは逆の順序でショート・プログラム/オリジナル・ダンスから競技を開始する。タイの場合は、競技する順番を決定するために抽選が行われる。フリー・スケート/フリー・ダンスの競技順序については、それぞれ

のオリジナル・ダンスのショート・プログラムのランク順位とは逆である。タイの場合は、競技の順番を決めるための抽選を行う。第 2 章第 348 項と第 4 章第 535 項の b) と 5、b) と d) の精神が適用される。

6. 採点方式 / 関係者

6.1 採点と計算方式

採点と結果計算方式は、2004 年 ISU 特別規定シングルとペア (第 352 項、第 353 項)、2004 年 ISU 規定アイス・ダンス (第 542 項、第 543 項) に述べられている通り適用される。

6.2 技術関係者

ISU の会長は、ファイナルに関係する全ての技術役員 (審判、技術管理者、技術スペシャリスト、技術スペシャル助手) を指名する。

ISU 事務局は、この大会を担当する技術役員の名前を組織委員会へ通知する。

6.3 ジャッジ委員会

ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの各々の大会のジャッジ委員会は、可能であれば、それぞれの競技において異なる ISU メンバーから選ばれた 10 人のジャッジで構成される。ただし、8 人以下であってはならない。ISU ジャッジングシステムの ISU セミナーの 1 つに参加したことがある ISU のジャッジのみが、ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルを担当する資格を持つ。

各々のカテゴリーにおけるジャッジ委員会の構成は、以下の方法でなされる。

- a) 最優先権は各々のカテゴリーに参加する ISU メンバーにある。
- b) 2 番目の優先権は、必要であれば、ISU フィギュアスケート・グランプリのメンバーにある。
- c) 3 番目の優先権は、a) とは別に、ISU フィギュアスケート・クランプリ・ファイナルに参加するジャッジ (但し、既に 2 つの大会に関わっていない) のいるメンバー連盟に与えられる。
- d) 4 番目の優先権は、フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの開催国に与えられる。
- e) 5 番目の優先権は、必要であれば適用される規律を優先して、合計得点数の高いスケーター/カップルから始まり (=第一の代替)、ISU フィギュアスケート・グランプリファイナル出場の資格がないスケーター/カップルの ISU メンバーに与えられる。

ISU フィギュアスケート・クランプリの最後の大会終了後直ちに、ISU 事務局は関係する全てのメンバーへ、決定または資格を与えられたジャッジの数を通知する。ジャッジの選択はそれぞれの ISU メンバーによって決定される。

ジャッジは可能であれば、ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの 2 つ以上の種目を担当してはならない。

6.4 謝礼金

ジャッジ、審判、技術管理者、技術スペシャリスト、主催者査察委員会は ISU コミュニケーション第 1 章第 1327 号（或いは本コミュニケーションの如何なる更新）に従い、報酬を受け取ることができる。交換可能な通貨のみ有効。報酬は承認を受けてから支払わなければならない。

6.5 経費

主催メンバーは、全ての招待されたジャッジ、全ての審判、任命された技術役員、ISU フィギュアスケート・グランプリ大会に招待された全ての競技者へ、エコノミー席の航空運賃に基づく往復の旅費を支払う。

主催メンバーは、全ての競技者、ジャッジ、審判、技術関係者、ISU 関係者へ、公式練習開始前日の夕食から大会終了翌日の朝食までの宿泊費と食費を支払う。この期間は個人で航空便の手配をするのであれば延長することは可能である。

7. 保険 / 責任

第 119 項に従い、ISU の大会に参加する各々のメンバーの個人責任において、競技者、関係者、メンバーのチームの他スタッフに対し、医療と事故保険を提供しなければならない。このような保険は、完全な医療手当、航空手段による居住国への帰国、または病気、怪我の場合は他迅速な対応を保証する。

ISU は、グランプリ大会/ファイナルに関係して被った身体、または個人的な怪我、または所有物への損害に対して、責任、義務を負わないものとする。

8. 渡航書類と許可

ISU フィギュアスケート・グランプリ（NHK 杯）と ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの最終大会期間中、出場資格を与えられた全てのチーム・メンバーは個人の渡航書類と許可（入国ビザなど）を適時に処理することとする。

9. 交代選手

9.1 ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルの交代選手

ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルへの出場資格を持つスケーター/ペアが参加できない場合は、得点数によるグランプリ・ランク順位に基づき、スケーター/カップルを直ちに交代する。グランプリ・ランク順位の 7 位から 9 位のスケーター/カップルは、交代可能な選手として ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル初日 3 日前まで（2005 年 12 月 12 日月曜日の東京時間正午まで）出場のためのスタンバイをしなければならない。これらのスケーター/カップルは必要なビザ、または渡航書類を準備しておく責任がある。

交代によって、ジャッジの招待、またはジャッジ委員会の構成に影響を及ぼすことはない。

9.2 交代の決定

フィギュアスケートの ISU 副会長は本告知の第 10.1 章に従い、ファイナルのあらゆる交代について最終的な判断を下すこととする。

10. トップシード選手の怪我、または病気

如何なる怪我、または病気の場合、医者より発行される診察書と、各メンバーまたは ISU 医療アドバイザーによる認定を、ISU 事務局へなるべく早く送付しなければならない。

11. アンチ・ドーピング

アンチドーピング・テストは ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルで行われる。アンチドーピング・テストは現行の ISU アンチ・ドーピング規約と手続き（ISU コミュニケーション第 1280 号と第 1281 号、または如何なる更新された本コミュニケーション）に従い実施される。

テストはシングル（フリー・スケート後）、ペア・スケート（フリー・スケート後）、アイス・ダンス（フリー・ダンス後）で入賞した選手へ実施される。それ以外の選手から 1 人の選手がシングル、ペア・スケート、アイス・ダンスからランダムに選ばれる。ペア・スケートとアイス・ダンスで、男子か女子に限らず（但し両方ではない）、ランダムに抽選され選ばれた選手がテストを受ける。

12. エントリー

12.1 競技者とジャッジのエントリー

エントリーの確認書は、ISU 事務局より資格を有する選手/カップルのメンバーへ送付される。

ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナルのホスト組織委員会への公式エントリーは公式エントリー・フォーマットをもって各々のメンバーから送付される。

万が一、スケーターまたはカップルが怪我或いは病気のため参加できない場合、組織委員会と ISU 事務局へ文書にて、各々の ISU メンバーを通じて直ちに通知しなければならない。組織委員会は次にランクされているスケーター/カップルへ ISU に代わって招待することを通知する。スケーター/カップルは以下第 11 項に従い、ISU 事務局へ診察証明書を提出しなければならない。

関係する ISU メンバーは、資格を有する競技者、資格を有する交代要員、本告知第 7.3 章に従い、選出されたジャッジの名前を記入し承認する。**エントリーの締め切りは 2005 年 12 月 7 日である。**エントリーは公式のエントリー・フォームでなされ、書留郵便、またはファックスで同時に郵送しなければならない。

ISU 事務局

Chemin de Primerose 2



CH-1007 Lausanne, Switzerland

Telephone: ++41-21-612-66-66

Telefax: ++41-21-612-66-77

Email:

info@isu.ch

Peter Krick 氏へも Cc で送付すること。

Email: peter.krick@eventint.com または、ファックス: +49-8158-928-650

及び

組織メンバー

日本スケート連盟

2005/2006 フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル組織委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

岸記念体育会館 414 号

電話番号: +81-3-3481-2351

ファックス: +81-3-3481-2350

e-mail: info@skatingjapan.or.jp

12.2 チームのエントリー

追加される全てのチーム・メンバー（各チーム 1 リーダー、各選手に 1 コーチ、チーム専属医療スタッフ〔2 名まで〕、チーム関係者、振付師）は “Composition of Delegation” の各エントリー・フォームを使用し、エントリーする。宿泊に関する各々のリクエストは、ホテル・ルーミング・フォームを提出する。

全てのフォームは遅くとも 2005 年 12 月 7 日までに組織委員会へ提出されなければならない。

組織メンバー

日本スケート連盟

2005/2006 フィギュアスケート・グランプリ決勝組織委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

岸記念体育会館 414 号

電話番号: +81-3-3481-2351

ファックス: +81-3-3481-2350

e-mail: info@skatingjapan.or.jp

12.3 曲 / プログラム内容シート

全ての競技者は、第 1 章第 343 項、第 1 章第 553 項に従い、上質な競技曲を、CD、MD または、DAT 形式のいずれかのフォーマットのものを用意する。各競技者のシングルとペアのショート・プログラムとフリー・プログラム、アイス・ダンスのオリジナルとフリー・ダンス・プログラム、エグジビションで使用される曲のタイトル、作曲者、オーケストラのリストを公式のミュージック・セレクション・フォームを作成し、公式の競技者エントリー・フォームへ添付すること。

第 1 章第 343 項、第 1 章第 553 項に従い、全てのカセットテープとディスクは、競技大会、競技者名、国、または競技スタートのタイミングを含む曲の長さ（スケート滑走時間ではない）を明示し、登録の際に提出しなければならない。各々のプログラムは（ショート・プログラム、フリー・スケート、オリジナル・ダンス、フリー・ダンス）、別なディスク、また



はカセットテープで 1 つのトラックで録音されていること。なお、スケーター/カップルは、それぞれのプログラムの予備ディスク、または予備カセットを用意しなければならない。

万が一、曲の情報が不完全で、カセットまたはディスクが提出されない場合は、ア krediy テーションは発行されない。

エントリー・フォームと共に、「プログラム内容シート」(“ Program Content Sheet ”)が適切な時期に組織委員会へ返却されなくてはならない。プログラム内容シートは各々のスケーター/カップルが ISU コミュニケーション第 1207 号付属書 A に列記されている要素の用語を使用し、英語で明確に記入することが義務である。

13. メダルの授与

それぞれの大会で上位 3 位に入賞したスケーター/カップルは、告知され賞が与えられる。金、銀、銅メダルがメダリストに授与される。メダリストの国歌が演奏され、国旗が掲げられる。

14. エキシビション

それぞれの競技において、上位 4 位までに入ったスケーターはガラ・エキシビションへの出場を要請される。ショーの要素のある演目が期待される(第 5.2 章を参照)。各々のゴールド・メダリストは独自の競技プログラムに加えてアンコールにも応えるよう期待される。賞金を獲得した出場者が出演費用を与えられることはない。

15. 情報

更に情報が必要な場合は、以下の連絡先にコンタクトすること。

ISU Secretariat
Chemin de Primerose 2
CH-1007 Lausanne
Switzerland
Telephone: ++41 21 612 66 66
Telefax: ++41 21 612 66 77
Email: info@isu.ch

大会に関する如何なる変更は、ISU 事務局と同時に Peter Krick 氏へも連絡すること。
(e-mail: peter.krick@eventint.com or telefax: +49 7211 5132 2036)

各大会の組織メンバー連盟

カナダ	Skate Canada
中国	Chinese Skating Association
フランス	Federation Française des Sports de Glace
日本	Japan Skating Federation
ロシア	The Figure Skating Federation of Russia
米国	The United States Figure Skating Association



コーディネーション・グループ:

David Dore, ISU Vice-President of Figure Skating, ISU Grand Prix Coordinator
Jerry Lace, Group Member
Peter Krick, ISU Event Coordinator
Patricia Mayor, ISU Sports Coordinator Figure Skating

16. ISU フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル組織構造

国際スケート連盟(International Skating Union)

オッタビオ・チンクワンタ, ISU 会長
(Ottavio Chinquanta, ISU President)

Contact: Mr. Fredi Schmid
General Secretary
International Skating Union
Chemin de Primerose 2
CH-1007 Lausanne
SWITZERLAND
Telephone: ++ 41 21 612 66 66
Telefax: ++ 41 21 612 66 77
Email: info@isu.ch

または、デヴィッド・ドレ, ISU 第二副会長
ISU フィギュアスケート副会長
534 Buchanan Crescent
Gloucester, ON, K1J 7V4 CANADA
Telephone: ++ 1 613 749 6140
Telefax: ++ 1 613 747 8222
Email: daviddore@sympatico.ca

組織メンバー

日本スケート連盟

2005/2006 フィギュアスケート・グランプリ・ファイナル組織委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

岸記念体育会館 414号

電話番号: +81-3-3481-2351

ファックス: +81-3-3481-2350

e-mail: info@skatingjapan.or.jp

17. スケジュール (変更の可能性あり)

2005年12月14日 水曜日

到着

2005年12月14日に追加の練習を希望する場合は、
東京到着前に事前申請する必要がある。

ISU 規定第 340 項 と 第 534 項を 順守すること。

2005年12月15日 木曜日

10:00 h 公式練習初日

12:00 h チーム・リーダー・ミーティング

16:00 h 審判と技術管理者 ミーティング

16:45 h ジャッジ ミーティングと ジャッジ委員会の構成

18:00 h オープニング・レセプション

19:00 h 歓迎会

20:00 h 公式夕食会

2005年12月16日 金曜日

09:00 h 練習

16:30 h アイス・リンク オープニング

17:00 h ダンス ショート・プログラム

男子 ショート・プログラム

ペア オリジナル・ダンス

女子 ショート・プログラム

2005年12月17日 土曜日

08:00 h 練習

13:00 h ダンス フリー・ダンス

男子 フリー・スケート

ペア フリー・スケート

女子 フリー・スケート

19:00 h ラウンド・テーブル・ディスカッション (ダンス)

21:00 h 授与式と閉会夕食会

2005年12月18日 日曜日

09:00 h ラウンド・テーブル・ディスカッション (男子)

09:30 h エクスヒビション練習

10:00 h ラウンド・テーブル・ディスカッション (ペア)

11:00 h ラウンド・テーブル・ディスカッション (女子)

15:30 h (予定)エクスヒビション・ガラ

全てのチームの出発は 2005 年 12 月 19 日に予定されている。全ての資格を持つ参加者は、
最後のエキシビション・ガラへの参加は義務である。